

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	オウサム・レブス	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.492	△RG	0.053	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

5 1/4 インチ

番

研磨剤

比較対照ボール：オウサム・フック

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

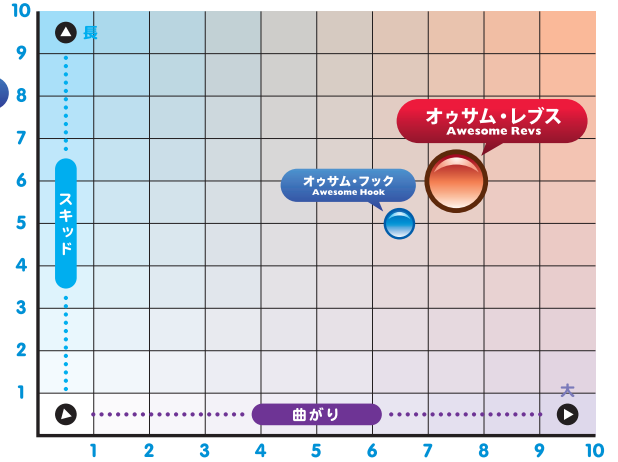
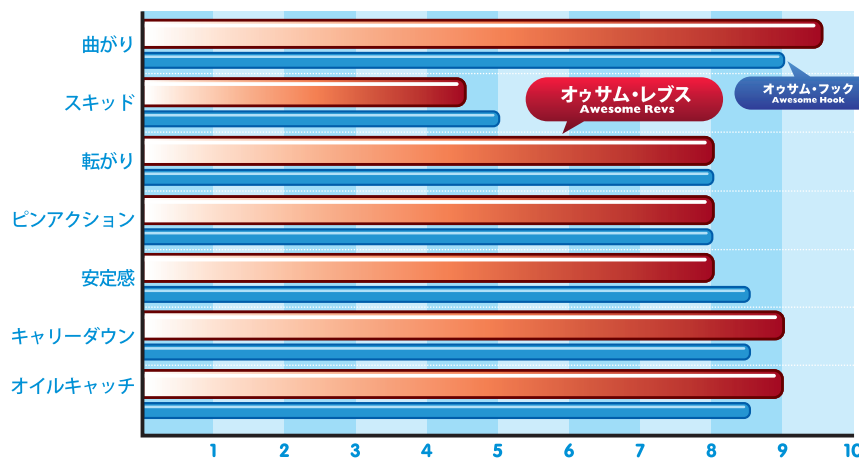
4 インチ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

記憶に新しい今年のジャパンカップで、ウォルターレイ・ウィリアムズ Jr がオウサム・フリップを使用し、あわやパーフェクトかと思わせる投球で優勝いたしました。あれだけ直線的なラインでもストライクを連発できるのも、モーリッチ特有の軸移動をフル活用しなければ実現できなかったかもしれません。前回バンガードコアを使用し、角の出るリアクションを求めオウサム・フックをリリース致しました。プロボウラーのみならず、アマチュアボウラーまでその使用頻度は高く、すでにそのパフォーマンスは立証されています。今回、モーリッチ社はバンガードコアを使用し、**オウサム・フックよりさらにバックエンドの角の出るリアクションの限界に挑戦してきました。**オウサム・フックで使った **Dual Cap Vanguard CoreにC4 パーライズド・パーティクル**を使用し、角の出方は**一級品です。**私の実感としては今までのバンガードコアを使用したボールの中では一番アグレッシブに感じ、フリップブロックコアの動きのようにも感じました。**このC4 パーライズド・パーティクルはキャッチ力に優れています、スキッド感はバランスよく確保できます。**そのトータルバランスがなければしっかりとしたバックエンドリアクションは実現できないでしょう。

オウサム・フックより、さらにアグレッシブに！バンガードコア最強の角の出るリアクションを是非、お試しください。

特記事項

オイリーコンディションで最高傑作とも言えるバックエンドリアクションを実現させてくれるボールです。オイリーなコンディションでこのオウサム・レブスは使用頻度 No1 になることは間違いありません。